

# 「中学生からの未来提言」 「わだつみ講演会」 町の未来に山田中学生徒から提言



講師の佐藤信逸町長

7月15日、山田中学校（富士幸雄校長、生徒379人）では、総合学習の一環として「わだつみ講演会」が行われました。町では、この講演会と併せて、山田町総合発展計画「中学生からの未来提言」を同時開催し、佐藤町長を講師として、町の現状や復興状況、町の課題について生徒らを前に講演しました。生徒は町の現在の状況に理解を深めながら、今後のまちづくりに関するさまざまな質問や提言を町に寄せてくれました。今号では、その内容について抜粋して紹介します。

講演会に先立ち、富士校長は「今回は、町の復興事業の先頭に立つ町長のお話を伺う機会を得ました。生徒の皆さんはしっかりと聞いて、復興の内容と今後のまちづくりについて考える時間にしてください」とあいさつ。引き続き、佐藤町長による講演が行われました。

演題は「君たちの郷土、山田の未来まちづくり」。災害公営住宅の整備状況や三陸沿岸道路の工事状況などについてスライドを使いながら講話をすると、生徒たちはメモを取りながら熱心に耳を傾けていました。

講演の後には質疑応答の時間。生徒たちから「まちづくり」に関して質問や提言が活発に出されました。

## 質問 漁業の復興状況は

鳥居航征君

山田は海が自慢です。震災で

大きな被害のあった漁業などは、復活しているのでしょうか。

**答** 東日本大震災では、漁業においても非常に大きな被害が出ました。カキやホタテの養殖棚は、津波前には4千台あったものが、現在では2千台に半減しました。ただし、これは悪いことばかりではなく、棚が少なくなつたことでカキやホタテの実入りが良くなつてきた、と聞かれています。徐々にではありますが、着実に復活しています。

## 提言 町独自の特産品を

堀合琴乃さん

漁業をもつと研究して、本町にしかない特産物や日本でここだけ、と言われるような有名な一品をつくってほしいです。

**答** その漁獲物に付加価値を付けて売り出す、素材に手をかけて、より価値を高いものにす

る6次産業化ということが必要です。そういったものを今後開発していきたい。それには、民間の力や女性の視点が必要です。

## 質問 鉄道再開の見通しは

佐藤浩人君

通学する学生や、通院するお年寄りのために鉄道を早く再開して欲しいです。復旧の見通しはどのようになっていますか。

**答** 大変重要な問題ですので、関係する市町村の皆さんと何度も協議を重ね、三陸鉄道として復活することが決定しました。

3年後の開通を目指して今後工事が進められます。一方で運賃の問題があり、JR料金だと陸中山田・宮古間の1カ月定期が7500円だったものが、三鉄になると1万4000円程度になります。料金問題についてはこれからもう一度考えていかなければなりません。

## 質問 山田町総合計画とは

小林由利江さん

「将来に向けて、新しい計画をつくる」とお話がありました。が、どのようなものなのでしょう。

**答** 町では、10年ごとに長期計画を作り町政を進めてきまし

## 質問者・提言者



小林由利江さん(3年)



佐藤浩人君(3年)



堀合琴乃さん(3年)



鳥居航征君(3年)



福士蓮加さん(3年)



川村光さん(3年)



西館優花さん(3年)



福士友梨佳さん(3年)



阿部 竜成君(3年)

た。「総合戦略」という計画も、

これと併せて作ります。この計画作りを進める上で、「まちづくり委員会」や「町民アンケート」などを実施していきます。今回の皆さんからの貴重な声も計画に反映させていきたいです。

### 質問 町の将来人口予測は

阿部竜成君

「町の人口は、これからも少なくなる」とお話がありましたが、将来どのようなことになるか予測は出ていますか。

### 答

将来推計によると、平成22年に1万8617人あった町の人口が、32年には1万5千人を割り、52年には1万人弱と、30年間で約45%減少すると予測されています。地方の人口が減少する一方、東京は増えているというデータもあり、バランスを考えていくことが重要です。

### 提言 子育てしやすい町に

福士友梨佳さん

育児と子育てが必要な家庭に、お金の補助をすればいいと思います。子育てに優しく、育てやすい町になれば、自然と人は町に残り県外からも人がやってくると思います。

### 答

限りある町の財源では、

お金の補助は難しいかもしれませんが、別な方法で子育て支援策を考えています。町ではことし8月から、小学1年生までの医療費を無料とし、高校生までの医療費についても補助していくこととしています。平等の中でのバランスを考慮しながら、子育てに優しい町を目指していきたいと考えます。

### 質問 人口減少への対策は

西館優花さん

人口減少について、もっと子どものための対策が必要だと思いますが、どのようなことをしたいと考えていますか。

### 答

ことしから、子どもが欲しくても授からない方々への治療費にも補助金を出すことにしています。また、陸中山田駅前周辺に新しい商店街をつくることにしています。ここには図書館機能を持つ「(仮称)山田町子ども交流センター」が作られます。人口減少問題の対策は、震災前よりもいい町をつくる、これに尽きると思います。

### 提言 メディア等の活用を

川村光さん

今はさまざまなメディアを通じて全世界に情報発信できる時

代です。これらを活用し他県の方々に「山田は住みやすい」ことを紹介すればいいと思います。

### 答

ICTという言葉を使いたことがあるかもしれませんが。この意味は、昔はITと呼ばれた情報通信技術のことに「C」のコミュニケーションを加えてきた言葉です。町内外に町の情報を発信することは、大事なことであると認識しています。

### 提言 空き家の有効利用を

福士蓮加さん

町内にある空き家を有効利用して、都会の人たちに移住してもらい、町の良さを知ってもらいたいです。その人たちの口コミ効果も期待できます。

### 答

今は、仮設住宅にお住いの皆さんをご自分の家に戻すことを最優先としています。それを成し遂げた後、この空き家の活用について取り組んでいきたいと考えています。例えば養殖業の担い手を外部から呼ぶような施策を考えていきたいです。

◆ ◆ ◆

今回生徒たちから寄せられた「中学生からの未来提言」については、山田町総合計画を策定する上で、貴重な意見として生かされます。